



はーもにー

TCS 運営委員会 2021

No.1 2021.08.25

ごあいさつ

鈴木美樹

皆さま！今年も団長のお役をいただくことになりました。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

前期はたくさんのお仲間が退団されとても残念でした…今期も未だコロナ禍でやっと練習再開したと思うと中止に。現在はあっという間に感染者数が跳ね上がり、また先が見えない?!と思うほどの人数になってしまいました。

今期は“皆さんと歌える喜び!!”を一緒に楽しめよう♪”

今はまだ演奏会や団員募集も大手振っては出来ませんがこれから先、来期に繋がるように、そして団員人数も少なくなり今いるメンバーで楽しく歌える曲など、役員のみなさまと協力し、考えていきたいと思います。

先生方、皆さまのご健康と練習再開できることを願っております。

まだ暑い日が続きますのでくれぐれもお元気で、再会を心待ちにしております。



コロナ禍の合唱指導記

富澤 裕

皆様、お元気ですか？活動できずにいる間に早くも暦の上では秋。残暑お見舞い申し上げます(^)。

緊急事態宣言の延長、感染者数の拡大・・・良いニュースが無い中ですが私の近況報告を。

学校を訪問しての子どもたちへの歌唱指導は私の一番力を入れている活動の一つですが、昨年からはキャンセルが相次ぎ子どもたちの歌声から遠ざかっていました。

そんな1月のある日、小学校から電話。またキャンセルか・・・と思ったら実施したいとのこと。当初6学年の5クラス150人を全員でという予定でしたが密を避けるため1クラスずつ5時間にわけてやって欲しい、OK！マスクを着けて歌う、OK！飛沫を減らすため歌うのは最小限に、授業の最初と最後に歌うくらいにしてあとは歌詞の話などして欲しい・・・う～ん・・・OK。歌は実技のもの、歌わなくては音楽にならない・・・いや！学校の音楽は何のためにあるのかを考えれば「集中して練習することの楽しさ、仲間と心をつなぐ活動することの素晴らしさ、そして成長しようと主体的に学ぶことの楽しさ」これらを学ぶことだろう。歌うことはそのための手段であって目的ではない。ならば本来の目的に向かって直球を投げ込んでみよう。こうしてこれまでに蓄積してきたノウハウからど真ん中を抽出し「ほとんど歌わないのに上手くなる

合唱指導」法を構成し実施してみました。要するに基礎を確認し自発的に実施させるだけなのですがその効果は驚くべきものでした。上手くなろうと目を輝かせて歌う子どもたちの姿は感動でした。この手応えをその後も様々な機会に実施・検証し（TCS の練習も含む^^）、夏休みに入ってからオンライン講習会などを通じて全国の先生方に広めています。出来ないこと以外は全部できる！この思いで制約を逆手にとるつもりでより良い音楽活動の進め方を磨いています。皆様と再会、再開した時にさらに良い活動ができるように。早くお会いしたくてうずうずしていますが今は辛抱。元気に再会できますように。



ホームページを活用しましょう

TCS のみなさま

名取かほり

またしてもご無沙汰しております。いかがお過ごしでしょうか？

大して思慮深いわけでも、何かに造詣が深いわけでもない私は、いよいよ書くネタが尽き…書けばどうしても暗い調子になってしまうので、もう思いきってここは、誰も期待していないでしょうけど、勝手に近況報告しておきます。

オリンピック、観ましたか？ 私は…やってもやらなくても、もうどうでもいい、と思っていた割りに、観てました。もともとスポーツ観戦は好きですし、運営は最悪の極みだけど、選手の頑張りをを見ると、やはり応援したくなってしまう…しかも、時差が無いってすごいですね。

一日中なにかしらやっている。無観客ならどこでやっても一緒、と思っていましたけど、起きている時間にやっている、というのは一応自国開催を感じられる部分だったのかと。

さて、上野家としては、ソフトボール大注目でした。オリンピック中止になっても、ソフトボールだけはやってくれ、と、勝手なことを思っていました。なぜソフトボールに注目か。一応説明しておきます。

かれこれ 13 年前、北京オリンピックでアメリカとの決勝戦に勝利し、金メダルを獲った日からしばらく、我が家にはある問い合わせがチラホウ届いていました。

「上野君親戚なの？」

上野由岐子選手と、うちの上野さんが親戚なんじゃないか？ という問い合わせです。九州出身で、あの歯並びと目元の感じと肩幅のある体格と、なんといっても上野姓。親戚じゃないのか？ そんなわけで、一応両親にも確認しましたが、そんな親戚はいないと…

「お父さん何か隠しているんじゃない？」とまで言われる始末でしたが、あの顔は上野家ではなく、義理の母の家系なので、やはり違うよな、というのが私の個人的な感想でした。が、それ以来、もう我が家としては他人事ではありません。親戚じゃないのに、まるで親戚かのように気かけ、コツコツと、地味なおっかけ、な感じで応援してきました。一昨年の顔面骨折、心配しました～。なので、開会式前でまだ世の中的に「本当にやるの？やるんだ…」という雰囲気が残るうちに始まった初戦のオーストラリア戦から、上野家は勝手に全力応援モードに突入し、勝手に心配し、勝手に褒め称え、勝手に



に勝利の美酒に酔っておりました(←アルコール飲んだのは上野さんだけですけど…)

こんな感じで、一応それなりに日々楽しみを見つけて生きております。考え込んでも、さすがにウィルスは自分の力でどうにか出来るものでもないの、「明けない夜は無い」「やまない雨は無い」と信じてドンと構えるしかないか〜、という心持ちでおります。

以上、近況報告でした。とにかく私は元気です!! みなさまも、引き続き健康第一でお過ごしくださいませ。

運営委員会からのお知らせ

蒲田富士子

残暑お見舞い申し上げます。

TCSも2021年度に入り、一か月経ちました。昨年度よりコロナ禍にて、三密を避けるために練習会場を礼拝堂に変え、消毒も徹底して、練習を月2回体制に変えました。今までにない状況の中、試行錯誤して皆さまのご協力のもとに歩んできました。この1年半で練習できたのが4回…まだ先は見えない段階ですが、後しばらく耐え忍べば必ず歌える日が来ます。それまで、どうぞご自愛ください。

今年度は、団員間のコミュニケーションがとれるように『はーもにー』を発行していきます。日頃、思われてること・コロナ禍での生活・歌うこと・・・等、何でも構いません。伊藤さんあてに投稿していただきたいと思います。また、委員会のほうでも『……………特集』等を組んで、少しでも楽しめる紙面作りを考えていこうと思っていますので、ご協力よろしくお願いします。

今後の練習予定 9月30日(木)、10月14日(木)、10月28日(木) いずれも同仁会館礼拝堂にて 18:30~21:00

会費 月1回練習時…3,000円/月2回練習時…5,000円/緊急事態宣言等でひと月休会時…1,000円(団費として)

団員消息

退団: 5名(金田幸子、亀田卓一、島田雄達、

池島まさこ、小林有佳さん)

休団: 2名(杉田芳久、石田 健さん)

以上

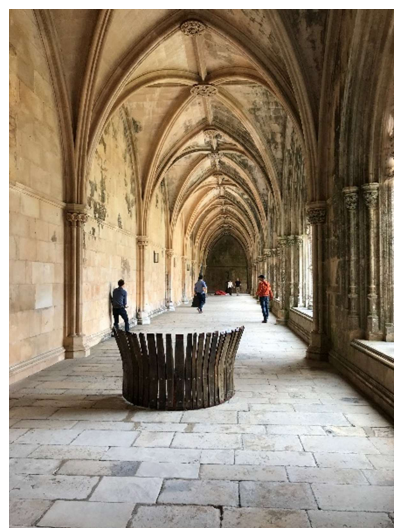
歌い合わせる幸せを思う

東條清子

こんなに長い間皆で集まって歌えなくなるなんて思いもしませんでした。このコロナ時代は想定外のいろいろな出来事を通して私たち人間を試しているように思います。

昨年3月から練習が出来なくなり「早くプッチーニ歌いたい」という願いも虚しく時は過ぎて行きました。個人的には12月に肺がんが見つかり1月に手術をしました。術後は痛みが酷く歌えるようになるだろうかと心配でしたが、担当医から「肺を広げるために声出してね」と言われ呼吸法と声出しを始めました。人間は弱い者ですがまた強い者でもあります。3月25日の練習で自分は歌えませんでした。皆さんのハーモニーを聴いて心が震え「歌いたい」と思いました。

この数年間運営委員会で会計や総務をさせて頂き、皆で悩みながら、この頃はZOOMで会議もしてきました。もうしばらく我慢は続くと思います。この状況の中、新役員の方々大変ですが宜しく御願います。出来る事は力を合わせますので。やっぱり少しでも早く皆さんと声を合わせて歌いたい。



何で、私が運営委員に！？

岸部俊幸

この度、運営委員／会計担当を務めることになりました。

思い返してみますと、二年前2019年10月に、小中高の音楽の時間とカラオケ程度でしか歌っていなかった小生が、東條さんと妻が知己という関係で見学にお邪魔し入会することになりました。11月のモツレクを聴きに行く＆お食事会、翌年1月の文京シビックホールでの合唱のつどい、を経て何となく合唱にも慣れ、次は5月のオリンピックセンターだと思っていた矢先に、今般のコロナ騒動になり、以降、一年余り歌とは全く関係の無い生活を送っていました。

実のところ、今期の運営委員に選ばれて驚愕しています。妻からは、合唱も何もわからない人が役員やるなんて迷惑かかるから辞退しなさい…と言われたり、個人的には、誰が四人も私に投票したのか、陰謀だ…とも思ったりしました。(笑)

とは言え、折角のご縁ですので、皆様に少しでもお役に立てるよう頑張ってお参りますので、一年間よろしくお願い致します。

コロナ禍

栗田おとの

みなさま、数年ぶりに委員に任命されました。お役にたてるかわかりませんが、またよろしくお願い致します。

さて、コロナ禍をどのようにお過ごしでしょうか。出掛けないと、そして人にもあわないと、アクシデントは起きないし、転ぶことも無いし、喧嘩にもならない。テレワークでトラブルが起きても、それほど熱くならない。何か困っているかと言えば、仕事も生活もそれほど困っていることはありません。しかしながら、ご飯食べても、ビールを飲んでも、なんだか美味しくは感じない。緊張があるから弛緩があるので、今はまるでのびたゴムです。

熱く燃えてるオリンピック達が、一際羨ましく思えました。が、それも終わりました。

また淡々とした日々が続いています。

「息を吐き切ったら自然に息が入ってきます。」と富澤先生がよくおっしゃいます。今は吐ききれないので、吸えない生活です。

再びお腹空くほど疲れるほど歌いたいですね。

それが出来る日まで、皆さん是非元氣と健康を保って下さい。

みなさんとよいハーモニーを

堀川孝子

＜歌おう＞TCSの連絡をいつもありがとうございます。8月6日ヒロシマ原爆慰霊式典の日、私は猛暑である中、式典のテレビを見終わり諸々の家事をすませて、オリンピック開会式で見た球体がゆっくり花開くようになり聖火台に点火された、あの聖火台を見に有明・お台場間の夢の大橋シンボルプロムナード公園に一人で出かけてきました。混雑もなくゆっくり歩いて楽しむことができました。この大変な状況の中でも行われた競技、選手、関係者の方々、皆さんに感謝です。感動しました。

コロナ禍でも日々の暮らしは出来る限りいつも通りに。近隣での仲間との同好会は施設が使用不可でない限りは集い続けました。通信講座はゆっくりですが続けられました。「歌」は残念ながら無理でした。家ではその努力は私にはできませんでした。今年久しぶりに富澤先生の熱心なご指導に参加できましたが、声が思うように出ず、ドキドキしてしまいました。年齢が



つまった子供 4 人と、老いた両親の見守りをしつつ通い続けて歌の練習をしていたころのあのエネルギーはどこへ行ってしまったかを。自分に甘えてしまった！！ 気の弱さにまた戻ってしまったような、

またTCSに加わって声（音）を取り戻したいのです。みなさんとよいハーモニーを作れるように。よろしくお願いします。

タブレットでコンコーネ（？）

石田 健

皆様、ご無沙汰しております。お元気でお過ごしでしょうか。私、相変わらず自宅に篭っています。

午前中はネットで新聞読んだりし、午後は天気のいい日は近所を散歩しています。（家族からは徘徊とよばれていますが。）夜はキンドルで本を読んだりユーチューブ、Netflix等で音楽聞いたりビデオ見て、曜日がわからない幸せな生活が続いています。

コロナでいろいろなことが変わりましたが、私の身の回りでは紙の情報が減ったなあ実感しており、そのうちタブレットで楽譜見ながらコンコーネのレッスンを受けるようになるのかなと勝手に想像しています。

また、皆様とお目にかかれる日を楽しみにしております。

豊かな響きとハーモニーを・・・

合唱は一人ではできません。みんなで声を合わせることによって初めて豊かな響きとハーモニーが生まれます。練習風景の録音の一部をご紹介します。

▶ 0:00 / 6:49

Mozart Requiem K.626 9 曲目 Hostias



見学に来てください！

[お問い合わせはこちらで。](#)

ホームページを活用しよう

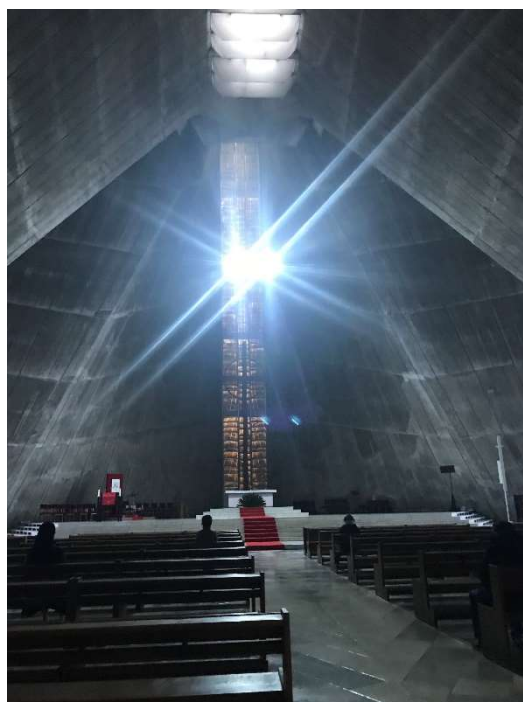
音楽はいつもそばに

上野由起絵

今年はいきなり夏がやってきたせいか、ベランダで育てているバジルの成長が早くて、ジェノベーゼソースをたくさん作りました。同じメニューから抜け出す時の伝家の宝刀でしたが、いつしか定番になった夏の味です。

コロナ禍で、うっかり風邪もひけない昨今、音楽を聴いて免疫力を上げるようにしています。夕飯の支度をしながら、YouTube でブッチーニのグロリアミサを聴いていると、大抵テノールの美声で手が止まってしまいます。美しいフーガ、ミサ曲なのに明るく開放的な旋律に、50分があっという間に過ぎてしまいます。テノールとバリトンの穏やかな歌声のフィナーレにうっとり聴き入っていると、「ただいまー」の声で我にかえり、まだ野菜を切っただけで、何も作ってないことに気づくのです。

新しい楽譜に習ったことを書き込んでいくと、音楽が立体化し、色がつき、少しずつ自分のものになっていく、その過程が好きです。ホールに響きわたるような歌声が戻ってきて、また以前のようにハーモニーを奏でることができたら、そんな素晴らしいことはないと思います。



東京カテドラル聖マリア大聖堂

【慣れる】ことの良し悪し

蒲田富士子

入学して、新しい学校に〈慣れる〉・担任の先生に〈慣れる〉・就職して会社〈慣れる〉・結婚して新婚生活に〈慣れる〉・子育てに〈慣れる〉・TCSに〈慣れる〉。今までは良い意味に使うことが多かった【慣れる】。

昨年春、〈緊急事態宣言〉という聞きなれない言葉に戸惑い、街中のお店は閉まり、歩いている人がまばらになりました。「都のコロナ陽性者数が間もなく1000人を超えそうだ！」と戸惑った昨年暮れ。今は5000人を超してその数字にも〈慣れて〉しまった。「過去最高の・・・」という響きにも毎日更新され〈慣れました〉。

地元、川越の観光地区も昨年はお客がいなく地域の関係者が頭を悩ましていましたが、最近はその頃の10倍近い感染者が出ているのに、レンタルの浴衣を着て楽しそうに散策している人をよく見かけます。

この1年半で、【慣れる】という言葉を使う場面が変わってしまった気がします。

毎週木曜日の夜、TCSで思いっきり歌って帰宅。10時半過ぎに夕食？夜食？を食べながら満足感に浸った日々に【慣れていた】のに、最近はプレバトを見ながら俳句に親しんでいる自分に【慣れてきて】びっくり。

早くこの悪しき〈慣れ〉を脱却して、以前の歌で充実できる生活に戻りたい・・・と願っています。

私 の 夏

伊藤秀一

8月は心に苦しい季節だ。原爆追悼や戦没者慰霊の報道で政権にいる者の言説に落胆が続く。8月8日に憲法を考える映画の会から案内をもらって映画「荒野に希望の灯をともし〜医師・中村哲 現地活動35年の軌跡〜」を見て、製作した監督の話を聞いた。アフガンでの医療活動に加え、住民を率いて灌漑用水を作った中村さ

んの心を突き動かしたものは何か、このように素晴らしく誇らしい人を我が社会はどうやら今後も輩出できるのか？新しい日本社会を担う若者のために我々は何をすべきなのかが問われている。教育・ジャーナリズムの復権を強く願う。中村さんはクリスチャンで、イスラムの世界に入り、座右の銘に「一隅を照らす」（〈今いる場所で希望の灯をともし〉）と最澄のことばを書く。3つの異なる宗教は登り口は違っても、行き着く頂上は同じだとの監督のコメントがあった。しかし中村さん殺害に関して「平和を望まない勢力があるのだろう」という監督の言葉は胸を刺した。

8月15日にはBSの特別番組「半藤一利 × 保坂正康の対談」で日本の近現代史への強烈な批判の映像を見た。同じくBSプレミアムである「大地の子」の再放送もあり、23日には最終回が放映され、涙を禁じ得なかった。文京シビックでは文京区戦争展があり、大日本帝国軍隊が満州・南京でおびた数々の市民を殺した事実、慰安所に並ぶ兵士の列、眼を覆うばかりの数々の写真を見た。

もうすぐで80歳になることを思い、自分は人生の締めくくりに何ができるのだろうかと自問せざるを得ない。私一人ではできなかったことが大勢の弟子たちによって実現され、またその弟子に広がることは教師冥利に尽きるが、私は彼らに社会を見る眼を育てることができなかった。ろくに眼の開けていない私に、そういうことができなかったことは当たり前だったのだろう。



編集後記 コロナ禍であらゆる活動が停滞しています。団員からのメッセージをお届けします。(い)
連絡先：鈴木美樹 miki.561739@gmail.com